

# 「今、何の病気が流行しているか！」

## (川崎市感染症発生動向調査事業—令和5年第9週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和5年第9週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和5年第9週（令和5年2月27日から令和5年3月5日まで）

第9週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は12.23人と前週（12.95人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.59人と前週（5.03人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.51人と前週（0.38人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

今週のトピックス

“インフルエンザの地域的な流行がみられています！”について取り上げました。

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和5年第9週（2月27日～3月5日）に12.23人で、引き続き地域的な流行がみられています。特に宮前区では、第8週（2月20日～26日）に流行発生警報基準値（定点当たり30.00人）を超え、第9週も27.40人でした。また、第9週のインフルエンザによる学級閉鎖の報告数も、宮前区の小学校が8件中計6件と最も多くなっています。

お子さんの体調には十分に注意し、調子が悪いようであれば自宅等で休息をとるよう心がけましょう。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

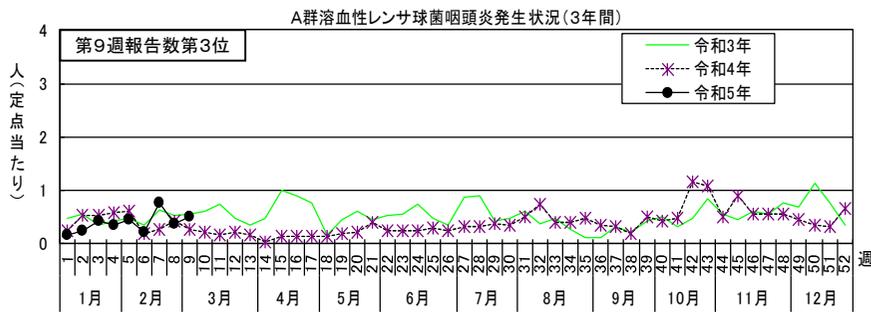
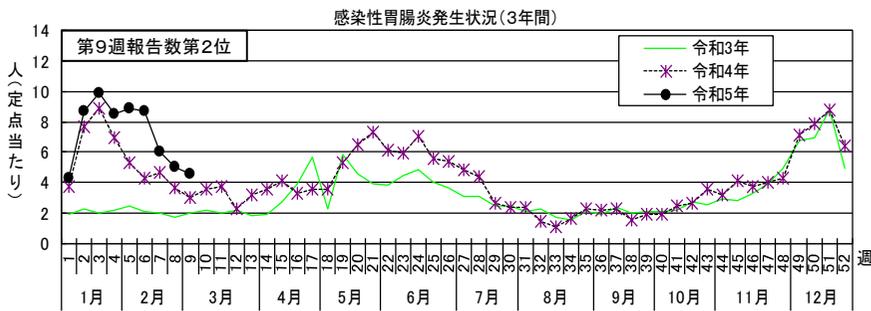
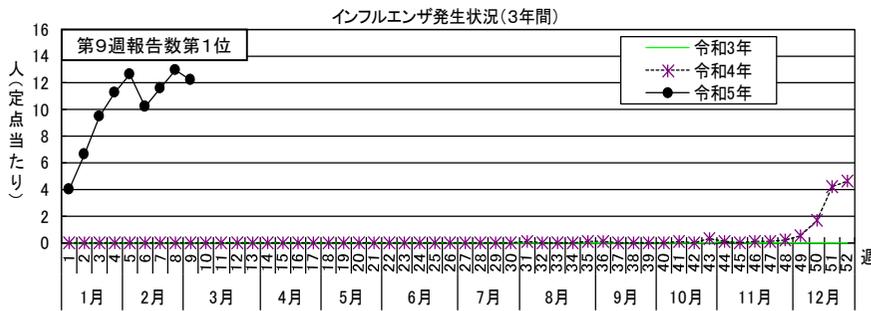
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 野木  
電話044（200）2446  
川崎市健康安全研究所 三崎  
電話044（276）8250

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年2月27日（月）～令和5年3月5日（日）〔令和5年第9週〕の感染症発生状況

第9週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は12.23人と前週（12.95人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.59人と前週（5.03人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.51人と前週（0.38人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

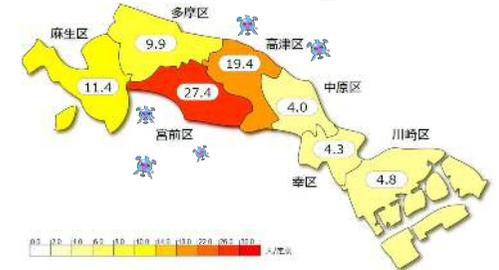


## インフルエンザの地域的な流行がみられています！

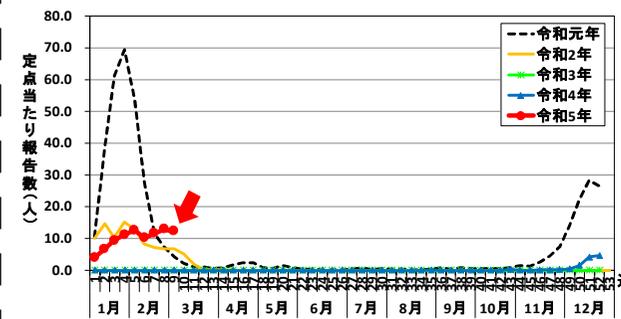
川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和5年第9週（2月27日～3月5日）に12.23人で、引き続き地域的な流行がみられています。特に宮前区では、第8週（2月20日～26日）に流行発生警報基準値（定点当たり30.00人）を超え、第9週も27.40人でした。また、第9週のインフルエンザによる学級閉鎖の報告数も、宮前区の小学校が8件中計6件と最も多くなっています。

お子さんの体調には十分に注意し、調子が悪いようであれば自宅等で休息をとるように心がけましょう。

川崎市におけるインフルエンザ分布マップ (令和5年第9週)



川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



川崎市内の学校等における学級閉鎖実施状況 (令和5年3月6日時点集計)

